

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

10月中旬、松本ホテルエナジスタ3Fホールで開催された松本信用金庫秋季講演会で、(株)森八取締役女将の中宮紀伊子さんの「この人生をありがとう」を聴講する。(株)森八は日本三大銘菓の1つに挙げられている上質な和三盆糖を用いた「長生殿」を製造販売している老舗の和菓子業者だ。

和菓子界では一般的に、新潟・越乃雪本舗大和屋の「越乃雪」、松江・風流堂の「山川」と、金沢の「長生殿」が三大銘菓といわれている。全て茶席菓子や供物定番の「落雁」だ。落雁は、「打ちもの」と呼ばれる干菓子で代表する伝統的な和菓子の一種。「打ちもの」は砂糖が主役の和菓子で、本来甘さをじっくり味わうもので、材料も作り方も極めてシンプル。

それゆえに材料の質や職人の力量によって味が左右され、色味やその姿にもセンスが問われる非常に高度な技術とセンスが求められる業種だ。講師の中宮紀伊子さんは岩手県一関市生まれの東京下町育ち。18代目の現社長と結婚し金沢に嫁いたが、バブル期のつまつきから60億円の負債を抱え行き詰まり、平成7年に和議を申請。同時に取締役となり、社長である夫とともに再建の道を歩んだ講義内容だ。会場は超満員。逆境か

## 経営再建を成し遂げた経営術から学ぶ大切さが伝わってくる

「銭の花の色は清らかに白。だが善は血がにじんだように赤く、その香りは汗の匂いがある」と共にドラマの再建ストーリーがなぜか思い出してしまう。講演の中で印象に残った内容「お客様第一主義・品質第一主義・向上第一主義」の基本三原則。顧客の立場に立ち「できない」「無理」を禁句に品質を第一に考え、日々改善し向上の考えを職員へ徹底。「売上高より、利益高を意識。無駄の排除」・「お得意様への慣例の値引きの取りやめ」。そして「どんなにつらいときも、明るく自分を励まし背筋を伸ばして店に」。誰かの為にという気持ちを大切にすれば、どんな事にも耐えられる。大



講義終了後、共感する内容だったのだろう同年代の女性聴講者に取り囲まれる

事な事は、最後は私が責任をとるという覚悟「神様は乗り越えられない試練は与えない。その事を信じる勇氣をもては必ず超えられる道はある。苦難を乗り越った人が伝える内容は、参加者の心を強く打った。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)